

目標像2		【生物多様性・安全】 「里山・田畑・生活環境」を継承するまち～環境“恒”都～
定量目標		
給食での地場産物の年間利用回数の割合	10年後の目標値	・保育所給食 15.0%以上 ・小学校給食 20.0%以上
	実績値(2021年度)	・保育所給食 6% ・小学校給食 12% ※数量で算出しています。
	動向	近年では学校給食への地場産野菜の食材提供量は増加傾向である。
子どもたちが里山や田畑に触れた件数	10年後の目標値	・全生徒が触れること
	実績値(2021年度)	・学校農業体験 12回 ・森林環境教室 2回
	動向	新型コロナウイルス感染症のため実施回数は減少した。
取組実績(2021年度)	<p>○学校給食への地場産野菜の食材提供について、学校給食地場産野菜調達業務では、新たに4品目(たまねぎ、ジャガイモ、なす、キャベツ)を追加した。</p> <p>○せいか里山の会で子ども向けのイベントなどを企画し参加を促し毎月開催しているが、子どもの参加はなかった。</p> <p>○学校農業体験として、町立の小学校5校、中学校3校及び支援学校1校のすべてで実施を計画していたが、雨天及び新型コロナウイルス感染症のため中止した学校もあったが、田植え5校・稲刈り7校で実施。</p> <p>○森林環境教室として、町立小学校5校の内、2校で計5クラスで、2回実施。</p> <p>○洛いも植付・収穫体験を、すべての町立保育所(3保育所)で実施。</p>	
(要因分析)	<p>○学校給食への地場産野菜の食材提供量は、令和3年度には学校給食地場産野菜調達業務で4品目(たまねぎ、ジャガイモ、なす、キャベツ)を新たに納入したことで増加した。</p> <p>○取組内容は、例年実施している取り組みであるが、新型コロナウイルス感染症拡大などのため、中止になった取り組みもあり実施回数は減少した。ウィズコロナで実施できる内容を検討する必要がある。</p>	
主な施策・事業の進捗状況		
事業名	進捗状況	担当課
(1) 里地里山の保全と継承		
里山保全モデル事業	里山が持つ豊かな自然を保全、再生するための下草刈りなどの定例保全活動を計7回(参加人数101人)[令和2年度:計7回(参加人数161人)]実施した。	産業振興課
(2) 安全・安心な環境の確保		
環境汚染対策事業	河川水質調査、あき地の適正管理の要請・除草勧告、学研地区進出企業への環境保全計画の審査や環境保全協定による立入調査を実施した。	環境推進課

(3) 環境美化活動の推進		
道路・公園等維持管理事業	住民と行政の協働による「クリーンパートナー」により、道路清掃や除草、植栽帯の維持管理など美化作業を通して、環境美化に対する意識の高揚、環境との共生、安全で安心なまちづくりを推進した。町内で 30 団体(1,590 人)が活動を行っている。	建設課
(4) 美しい景観の充実		
あき地等適正管理指導	あき地の所有者に対し、除草等の適正管理を要請・勧告等の指導を行い、住環境の保全に努めました。	環境推進課
その他の実施事業		
健康づくり推進事業【食育の啓発推進】／農産物育成・販売推進事業／地域担い手育成総合支援事業／精華町まちをきれいにする条例の周知・啓発／きれいなまちづくり運動推進事業／都市公園維持管理事業／道路維持管理事業／農地利用最適化推進委員及び農業委員の取り組み		
評価		
環境推進委員会の評価	※住民意見など踏まえてはここにも記載※	
今後に向けて	※最新情報や、住民等が参考となる項目についても記載※	

## ● 取り組み内容

### ● 学校農業体験

田植えや稲刈りの農業体験を実施しました。



精北小学校（稲刈り）

### ● せいか里山の会

里山の豊かな自然を保全し再生するため、下草刈りなどを実施。



ほだ木の伐り出し

### ● 河川の水質検査

町内の河川で、毎年 2 回 17 地点の水質を調査し、きれいな水であることを確認。



煤谷川



山田川



乾谷川



中溝川